

平成30年4月1日に、先進的なデータ利活用の推進拠点として、和歌山県内に「統計データ利活用センター」を開設し、ICTを活用して高度なデータ解析を実現する統計マイクロデータの提供を開始。和歌山県と協力し地方創生に貢献

統計マイクロデータの提供

- ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境の構築
- オンサイト利用の普及啓発
- 各種データアーカイブの整備 など

統計データ利活用センター “先進的なデータ 利活用拠点”

- 地方公共団体との共同研究
(データを活用した行政課題の解決)
- 民間ビッグデータ活用等の委託研究
- 地方公共団体への利活用支援など
- データサイエンススキルの向上支援
- 統計データ利活用に関する研修会の実施 など

データサイエンス・EBPMに
資する統計データ利活用推進

統計データ利活用に関する
人材育成

【規模】

統計局・統計センター職員、大学等からデータサイエンティスト（非常勤）など十数名

【設置場所】

南海和歌山市駅ビル
(和歌山市東蔵前丁)
(和歌山県データ利活用推進センターと同じ)

【開所式】

4月1日に和歌山県と合同で開催予定

働き方改革

- テレビ会議システムの導入
- 個人用デスク撤廃
- テレワークの推進 など